

東峰村にベンチ寄贈



8月3日に九州北部豪雨で大きな被害をうけた東峰村にベンチ10脚を寄贈しました。



玄関前に設置してもらいました！

手作りベンチ 東峰村に

浮羽工高生 豪雨被災地支援で贈る

久留米市田主丸町の浮羽工業高建築科の生徒たちが、昨年7月の九州豪雨で大きな被害を受けた東峰村の人たちにくつろいでもらおうと、木製ベンチ10脚を作った。3日、生徒の代表6人が村役場を訪れて寄贈した。

同科3年生は6年前から、工業高ならではの技術を奉仕活動に生かそうと、課題研究の一環として「テクノボランティア」活動に

取り組んでいる。2017年1月には、熊本地震被災地の熊本県益城町にもベンチを届けた。

東峰村に贈るベンチは高さ約40センチ、長さ約1.5メートルの2人掛け用で、背もたれ付きと座面のみの2種類を5脚ずつ準備。昨年度の3年生10人で作業を始め、引き継いだ本年度の3年生14人が、やすりがけやニス塗りなどの仕上げを施した。村役場敷地内などに置かれる

出発前、3年生の小森慶汰さん(18)は「利用者の癒やしになればと心を込めて作りました。見掛けたらぜひ座ってほしい」と話した。(糸山信)

出発前に座り心地を確認する生徒たち

西日本新聞に掲載されました